

潮目が変わるのは2020年冬

(株)ウィット 三宅宏通社長の

M&Aマーケット観測

外食M&A市場では新規事業の立上げを目的としたコンテンツ取得の動きが生まれています。前号でお伝えしましたが、事業承継案件を中心に地方には原石が埋もれています。そこでビジネスチャンスを見出し、M&A戦略に舵を切っている企業もあります。そのうちの一社が2021年2月に設立されたまん福ホールディングス株さんです。年間5~6件の事業承継に取り組み、創業5年で売上高200億円到達という事業計画を立てられています。

まず注目していただきたいのは経営陣の顔ぶれ。経営トップの加藤智治社長は2007年から14年にかけて回転寿司『スシロー』の経営改革を主導し、当時の(株)あきんどスシロー(現・FOOD&LIFE COMPANIES)で取締役COOに就任されました。その後腕である小池正樹副社長は(株)ゼンショウで営業本部長や工場長、取締役を歴任。役員陣もあきんどスシローやゼンショウで要職に就かれていたメンバーが揃っています。

これまで事業承継M&Aにかかるプレイヤーは金融系の投資会社やコンサルティング会社がメインでした。その点につい

て加藤社長は『われわれは経営を再建し、キャピタルゲインを得ようという考えはありません。食ビジネスに精通した経営メンバーが後継者として売り手企業の歴史と文化を受け継ぎ、長期経営をめざしていく。それが本

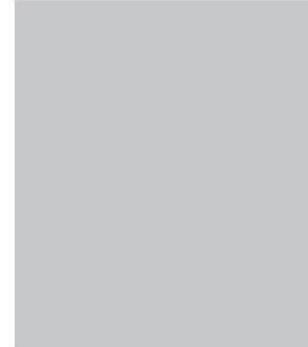
当の意味での事業承継になると考えています』と話します。

まん福ホールディングスさんは21年3月31日に創業60年を迎えた神奈川・茅ヶ崎の弁当販売会社の(株)浜田屋さんを事業承継されました。ここで目を見張る

今月のテーマ

事業承継 M&Aの要点

外食業界ではスマールM&Aの動きが活発だ。だからこそ「M&Aに明確なポリシーを持たない買い主もいる」と三宅宏通社長は懸念している。今回はまん福ホールディングス株の事業承継事例をとりあげ、M&Aに臨む姿勢に焦点を当てた。



月刊食堂

The
Food
Service
Management

2021
6



ダカフェ
CRAFT BIT DANNY CHURROS

ミッちゃん餃子
超粗挽きハンバーグと ひしめき亭
手作りチーズの店

フスピ

天ぷらスタンド 十八番
暮ラシノ呑処 才オイリヤ
俺の魚を食ってみろ!! 西新宿店
博多炉端 魚男
焼肉酒場 牛恋
博多もつ鍋 おおやま
韓国屋台料理と ナム 京都駅本店



よしめき ひしめき



〈特集〉SNSを集客にどう活かすか、どんな投稿にユーザーは反応するのか

SNS集客 実例集

